

憲法を活かすコスタリカに学び、史上最大の土木建築パナマ運河を体験！

旅行代金 2017年4月17日 445,000 円

2017年6月12日 445,000 円

一人部屋追加料金 48,000 円

定員 20名（最少催行人員10名） 現地ガイドがご案内します 申込み締切 出発の1ヶ月前

日次	月日	曜	都 市	交通機関	摘 要	〈宿泊地〉	食事
①	4月17日	月	東京・成田空港発	航空便	昼頃、成田空港に集合		B-X
	6月12日	月	メキシコ経由	航空便	空路、メキシコを経由してコスタリカ・サンホセへ		L-機 D-機
②	4月18日	火	サンホセ発	専用車	深夜、到着後宿泊ホテルへ	〈サンホセ泊〉	B-H
	6月13日	火	サラピキ着		陸路、サラピキへ 着後、ロッジの敷地で中南米特有の 野鳥やカラフルなカエル・イグアナなどを観察	〈サラピキ泊〉	L-R D-R
③	4月19日	水	サラピキ		午前：サラピキ川クルーズ(水鳥や哺乳類、爬虫類などの観察)		B-H
	6月14日	水	サラピキ発 サンホセ着	専用車	午後：私営自然保護区を散策 (ナマケモノ、モルフォ蝶、シロヘラコウモリなど) 陸路、再びサンホセへ	〈サンホセ泊〉	L-R D-R
④	4月20日	木	サンホセ	徒歩	終日：サンホセ市内見学 ●国会 ●最高裁判所法廷見学※注 ●国立博物館 ●国立劇場 ◎市場 夕食は民族舞踊と夜景が楽しめるレストランへ	〈サンホセ泊〉	B-H L-R D-R
	6月15日	木					
⑤	4月21日	金	サンホセ発	航空便	朝、空路パナマへ(約1時間20分)		B-H
	6月16日	金	パナマシティ着	専用車	着後：【世界遺産】ポルトベロ見学 ～コロンブスが命名した港町～ パナマ地峡の北側にあり、スペイン植民地時代はカリブ海側の 重要な積み出し港としてにぎわった港	〈パナマシティ泊〉	L-R D-R
⑥	4月22日	土	パナマシティ	専用車	午前：パナマ運河クルーズ 遊覧船に乗り、“水の階段” 閘門システムを体験！ 【世界遺産】カスコ=ピエホ見学 スペイン植民地時代に繁栄した古い町並みが残る歴史地区	〈パナマシティ泊〉	B-H L-R D-R
	6月17日	土					
⑦	4月23日	日		専用車	午前：ミラフローレス閘門ビジターセンター パナマ運河を通過する船を見学 【世界遺産】パナマ=ピエホ見学 1519年にスペインが初めて太平洋側に築いた植民都市の跡		B-H L-R D-X
	6月18日	日	パナマシティ発 メキシコ着	航空便	昼食後、空港へ。空路、メキシコ経由で帰国の途へ	〈空港待機〉	
⑧	4月24日	月	メキシコ発	航空便	深夜、空路で東京・成田へ		B-機 L-機
	6月19日	月				〈機中泊〉	
⑨	4月25日	火	東京・成田空港着		到着後、入国・通関を終えて解散		
	6月20日	火					

B=朝食付、L=昼食付、D=夕食付、機=機内食 H=ホテルで RL=市内レストランで 機=機内食
サ=サンドイッチ 弁=弁当

※(注) 1) 視察・交流は相手側のご好意で実現するものです。突然の変更・訪問箇所の変更となる場合があります。

2) 市内観光は日にちの入れ替えがあります。

3) 天候の影響でサラピキの旅行は行程が入れ替わることがございます

ツアーの特色

- ◇平和憲法を活かすコスタリカの憲法裁判所や国会を訪問
- ◇エコツーリズム発祥の地と言われるコスタリカの豊かな動植物を観察
- ◇太平洋と大西洋を結ぶ全長80kmのパナマ運河をクルーズ

利用航空会社

アエロメヒコ航空、コパ航空、アビアンカ航空など

利用ホテル

都市名	ホテル
サンホセ	バルモラル
サラピキ	セルパベル=デ=ロッジ
パナマシティ	コンチネンタル
	または同等クラス

旅行代金に含まれるもの

- 国際航空料金（エコノミークラス）
- 旅程表に明示したバス・列車・船等の料金・宿泊料金・食事料金
- 航空機による手荷物運搬料金
- 旅程表に明示した見学地のガイド料、入場料、チップ

旅行代金に含まれないもの

- 超過手荷物料金
- クリーニング代、電報・電話代、心づけ、追加飲食等の個人的性質の諸費用
- 空港施設使用料、保安料 成田 2,610 円
- お一人部屋追加料金 48,000 円
- 国内における集合・解散地までの交通費・宿泊費
- 燃油サーチャージ 約10,000 円（2016年12月現在）
- 空港税 約19100 円（2016年12月現在）
- 渡航手続費用：旅券印紙代
- 傷害、疾病等に関する医療費、任意の旅行傷害保険料



▲ “世界一美しい” と言われるモルフォ蝶



▲ 国立劇場



▲ 最高裁判所



▲ パナマシティ